

特集

一橋新聞で振り返る 平成の一橋大学



平成の本学は、国立・小平両キャンパス統合、国立大学法人化、4学期制・新カリキュラムの導入といった大きな変化の中にあつた。本企画では、本紙の過去記事を振り返りながら、本学の平成史をたどる。

- 1989 塩野谷祐一氏、学長就任
1991 キャンパス統合佳境へ
1992 阿部謹也氏、学長就任
1996 言語社会学研究科設置
1997 東キャンパス2号館完成
1998 東サークル棟半焼
第2研究館が電子ロック化
石弘光氏、学長就任
情報教育棟完成
小平新施設完成へ
2000 商学部で5年一貫プログラム導入
2004 国立大学法人化
2006 ウェブシラバス、本格運用開始
2007 定例学生大会廃止
2008 一橋寮で新入生が飲酒後に死亡
2010 GPAが卒業要件に
2011 東日本大震災
2012 一橋祭、学内禁酒に
2014 中期計画に留学必修化が盛り込まれる
2016 法科大学院生転落死
2017 4学期制・新カリキュラム始動
2018 一橋祭、規模縮小
2019 アウティング裁判、遺族側敗訴

91年7月号 キャンパス統合 佳境へ
小平キャンパスの老朽化を機に、4年一貫教育の実現も兼ねてキャンパス統合の議論が本格化した。その背景には、大学生活が前期と後期に明確に分断され、1、2年時に履修した一般教養科目と3、4年次の専門科目の横断的学習が図れないという課題があつた。キャンパス統合は利点が多いように思われたが、学生自治の不在という問題も浮き彫りになった。「三・一確認書」が全構成委員、すなわち教員、職員、学生・院生自治をうたっていたにも関わらず、情報が開示されず、全構成員による合意形成がなされなかった。

96年10月号 見切り発車の 移転開始
必修第二外国語とスポーツ方法1などの一部の科目を除いて授業は国立キャンパスに一本化された。小平での授業を履修していたのは1年生が中心だったため慣れない学生が多く、混乱を招いた。他にも、席数の不足による国立キャンパスの生協食堂の大混雑や、東西キャンパス間の横断歩道を赤信号になっても渡る学生の存在など、現在にも残る問題が発生した。

97年10月号 東2号館完成
国立キャンパスの東2号館が完成し、キャンパス移転がほぼ完了した。従来の大教室にはなかったAV施設や、L教室などが設置され、当時の先端を行く施設となった。

98年4月号 東サークル棟半焼
1934年に建設された東サークル棟が、タコ足回線のオーバervoltによって半焼の被害にあつた事件が発生。発火から約4時間後に消し止められた。22あった部屋のうち14部屋が被害にあつたが、負傷者はいなかった。

99年5月号 情報教育棟完成
情報教育棟が完成し、それまでは東1号館にあつたパソコンルームは閉鎖された。情報教育棟のパソコンは全面的に新しいものが導入され、処理速度が大幅に改善された。

00年1月号 商学部5年一貫 プログラム導入
工学と修士を5年で修了することができる「5年一貫プログラム」が商学部で導入された。目的は「付加価値を持つた学部生を社会に送り出す」とこととした。

04年4月号 「法人一橋」として 再出発
国立大学法人法が施行されたことを受け、本学は国立大学法人として再出発を果たした。法人化に伴い目標設定型の運営(経営)の学外者参画(第三者評価)などの民間的運営手法が義務付けられた。

07年1月号 定例学生大会廃止
前期自治会は参加者不足を受け、前期学生大会の定例開催を廃止することを決定した。

07年12月号 中和寮 院生専用宿舎へ
2008年度より中和寮を院生専用宿舎に変更する方針が発表された。大幅変更には踏み切った理由として、施設管理・運営の効率化、入寮申請の簡素化、移動による煩雑さの軽減などを挙げられた。

08年5月号 一橋寮新入生 飲酒事故死
小平国際キャンパス国際学生宿舎(一橋寮)の新入生歓迎会で、男子学生(当時18歳)が急性アルコール中毒の疑いで死亡した。同日中に本学は「学生死亡事故対策本部」を設置。事故原因の究明と遺族への対応に臨んだ。また未成人が入居するフロアでの飲酒禁止、一橋寮委員会の自治を凍結などの措置を講じた。

00年10月号 新図書館開館
西キャンパスに新図書館が開館。グループ学習室が2室から5室に増え、施設の利便性が向上した。

06年4月号 ウェブシラバス 運用開始
ウェブ・シラバス・システムの本格運用がスタートした。

4月1日午前 政府は「平成」に代わる新元号を「令和」と発表した。改元の節目に当たって思い浮かぶあれこれ、新聞部の老兵がここに徒然と記す。

4月1日午前 政府は「平成」に代わる新元号を「令和」と発表した。改元の節目に当たって思い浮かぶあれこれ、新聞部の老兵がここに徒然と記す。

分を「過去の人」と呼ぶそのマインドは、いかげなのかわかる。実際、市役所には令和初日に婚約届を提出する「令和婚」カップルが多かつたと聞いた。

10年4月号 GPA卒業要件に
2010年度入学者からGPA(Grade Point Average)が卒業要件に加えられた。導入により学習態度の改善、卒業生の学力の保証と、評価の透明化を図つた。

11年4月号 震災の影響 本学にも
国立市では震度3の揺れを観測。新学期を目前に一部の行事が中止・延期されたほか、小平国際キャンパスや附属図書館で軽微の被害があつた。

ここであえてそんな視点を封じ込め、改元の長所に目を向けてみる。思うに、それはあらゆる物事の節目を作り出し、何かしら挑戦しようという気概が湧く点だろうか。例えば改元は人生の大きな決断――それは起業や家の購入やプロポーズだったりする――を浮か、とあまのじゃくな感想も浮かぶ。

そんな幸せを横目に、平成生まれの自分がほとんど過去の人になっていくようにだと友人がぼやいていた。ただ少し待つてほしい。弱冠22歳の自

分を「過去の人」と呼ぶそのマインドは、いかげなのかわかる。実際、市役所には令和初日に婚約届を提出する「令和婚」カップルが多かつたと聞いた。

10年10月号 大卒教育はどう変わる?
本学は大学教育の国際化を図るための二つの軸として、英語で実施される授業科目の増設と留学の促進を掲げた。前者については「国際交流

科目」を創設し、英語開講の科目を増やした。同科目は留学生も受講できることから、学部生と留学生の交流を促す狙いもあつた。

ここであえてそんな視点を封じ込め、改元の長所に目を向けてみる。思うに、それはあらゆる物事の節目を作り出し、何かしら挑戦しようという気概が湧く点だろうか。例えば改元は人生の大きな決断――それは起業や家の購入やプロポーズだったりする――を浮か、とあまのじゃくな感想も浮かぶ。

そんな幸せを横目に、平成生まれの自分がほとんど過去の人になっていくようにだと友人がぼやいていた。ただ少し待つてほしい。弱冠22歳の自

分を「過去の人」と呼ぶそのマインドは、いかげなのかわかる。実際、市役所には令和初日に婚約届を提出する「令和婚」カップルが多かつたと聞いた。

14年4月号 時計台棟 大規模改修
附属図書館に付設する時計台棟の改修工事が発表された。

17年4月号 4学期制 新カリキュラム 始動
2017年度より4学期制や新カリキュラムが導入された。新カリキュラムでは「スキル英語」(現在のPACE)が学部1年生向けに必修化された。

17年6月号 KODA祭 中止に
第21回KODAIRA祭実行委員会は、百田尚樹氏講演を中止を発表した。

15年7月号 中期目標案提出
2015年6月、全ての国立大学が中期目標案を提出した。中期目標は大学が「達成

すべき業務運営に関する目標(国立大学法人法第30条)を記したのも。文部科学省が人文社会科学系学部などの廃止や他分野への転換を含めた事業見直しを求める通知を出す中、本学はグローバル人材の輩出に向けて動き出した。

16年10月号 グローバル化とカリキュラム改革の 行方
「グローバル社会に貢献し得る質の高い人材(中期目標)の育成を目指した改革が進んだ。具体的には卒業要件単位数を減らして1単位あたり45時間の学習時間確保を図る「単位の実質化」、留学促進を狙った4学期制導入な

あわせて全学共通教育科目では卒業要件単位数や設置科目数が減少した。

第21回KODAIRA祭実行委員会は、百田尚樹氏講演を中止を発表した。

2015年6月、全ての国立大学が中期目標案を提出した。中期目標は大学が「達成

すべき業務運営に関する目標(国立大学法人法第30条)を記したのも。文部科学省が人文社会科学系学部などの廃止や他分野への転換を含めた事業見直しを求め

「グローバル社会に貢献し得る質の高い人材(中期目標)の育成を目指した改革が進んだ。具体的には卒業要件単位数を減らして1単位あたり45時間の学習時間確保を図る「単位の実質化」、留学促進を狙った4学期制導入な

あわせて全学共通教育科目では卒業要件単位数や設置科目数が減少した。

第21回KODAIRA祭実行委員会は、百田尚樹氏講演を中止を発表した。

2015年6月、全ての国立大学が中期目標案を提出した。中期目標は大学が「達成

すべき業務運営に関する目標(国立大学法人法第30条)を記したのも。文部科学省が人文社会科学系学部などの廃止や他分野への転換を含めた事業見直しを求め